

事務事業名	若草三世代ふれあい祭り支援事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12390							
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳							
	☐ 実施計画事業		所属担当	青少年担当		担当者名	宮川 聡史							
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		24	青少年の健全育成		01	一般	1	0	0	4	0	3	0	3
政策				事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業									
施策		38	健全育成支援体制の強化充実		☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			法令根拠	南アルプス市青少年対策事業補助金要項									
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 祭りを通して遊びの中で、異年齢の仲間や地域の大人・子どもの交流を深め、地域の歴史文化や芸能を伝承する事業の活動補助金 ・指導者講習会の実施 ・当日は、しめなわ・竹細工・キーホルダー作りを行う			事業費の主な内訳 (22年度)										
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)				
				協議会・協会・団体補助金		108								
				計		108								

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	しめなわ・竹細工・キーホルダー作り
23年度活動予定	しめなわ・竹細工・キーホルダー作り
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
若草地区の市民・指導者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
祭りを通して遊びの中で、異年齢の仲間や地域の大人・子どもの交流を深め、地域の歴史文化や芸能を伝承する	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
青少年を取り巻く社会環境の実態を把握した上で、地域全体で取り巻くための方策を検討し、適切に対策を講じる	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 来場者数	人
イ 指導者講習会参加者数	人
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 若草地区の人口	
イ 若草地区の児童・生徒数	
ウ 指導者講習会参加者数	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 来場者+指導者数	人
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 「家庭や地域ぐるみの青少年教育について」満足度調査	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円	18						
			一般財源	千円	31	90	108	108	108	108	
	人件費	事業費計 (A)	千円	31	108	108	108	108	108	0	
		正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	6	6	6	6	6	6		
		人件費計 (B)	千円	27	27	24	24	24	24	0	
		(A)+(B)	千円	58	135	132	132	132	132	0	
活動指標		人	40.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0			
		人									
対象指標		人	1,327.0	1,337.0	1,300.0	1,300.0	1,300.0	1,300.0			
		人									
成果指標		人	40.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0			
		人									
上位成果指標		%	80.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0			
		%									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	旧若草町時代から祭りを通して青少年の健全育成に貢献している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	変化していない
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	正月用のしめ縄として好評である(参加者からの意見)

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	地域に溶け込んで親しまれている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	若草三代ふれあい祭り支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 世代間交流として非常に有効である
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 地区民会議主催で開催している
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 各地区で実施しているものを一元化
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 各地区で実施しているものを一元化
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 地域を越えて広く住民に親しまれるものが実現できれば可能 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 少子高齢化社会の中、各家族化が多い社会で世代間「三世代」交流は必要である ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 同左
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 すでに削減している
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 すでに地区民会議の主体で事業を実施しているため
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 現在は若草地区の全小学校にチラシを配布しており、また、広報でも情報を掲載しているので公平である。 (ただし、今後、類似事業と統合していくのであれば)更に広く市内全域から集客していく必要がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	「お祭り」事業は八田を除く4地区は各地区民会議主催であり、「甲西子ども祭り」のみ直営事業である。「お祭り」事業に関しては3通りの考え方がある。 1. 直営である「甲西子ども祭り」を「南アルプス子ども祭り」として市内全域を対象としたお祭りにする。ただしその場合は地区民会議主催のお祭りは発展的解消とする(「見直し」根拠)。 2. 地域性を考慮して従来どおり「お祭り」は地区民会議で主催する(「適切」→「現状維持」根拠)。 3. 当面は現状維持としながらも、2～3年先の統合を目指す。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①南アルプス市全体として「青少年関連お祭り」の統合化を図る。																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①地域性のある「お祭り」の統合に対する反発(課題)・・・解決策は未定		成果優先度評価結果																						
②現在「お祭り」を主催している地区民会議の今後のあり方		⑦																						
③																								
		コスト削減優先度評価結果																						
		⑥																						